

データ利活用を通じて社会課題解決を共創する BODIK パートナー制度を新設

～公共データと自治体連携で技術連携や実証・共同研究に取り組むパートナー企業を募集～

公益財団法人九州先端科学技術研究所（所在地：福岡市早良区、理事長：貫正義、以下 ISIT）は、公共データの活用や自治体との連携に関心を持つ企業と技術提携や実証・共同研究に取り組む「BODIK パートナー制度」を 2026 年 7 月に新設、加入企業・団体の募集を開始いたしました。

制度新設の背景

BODIK ではこれまでオープンデータの基盤づくりを行ってまいりましたが、近年、自治体受託企業による BODIK ODCSⁱの活用や、民間企業からの共同研究・実証実験（PoC）の要望が急増しています。これら多様化するニーズに今後も安定的・迅速に応える支援体制を継続すべく、組織基盤を強化し、相互のベネフィットを生み出すパートナー制度を構築するに至りました。

パートナーの区分

Strategic Partner（年会費：100 万円）

高度な連携や共同研究を行いたい企業・団体

BODIK 関連イベントへの参加 / BODIK ODCS テスト環境へのアクセス / イベント登壇機会の提供 / 自治体マッチング支援 / PoC・共同研究の共同実施 など

Partner（年会費：30 万円）

技術連携や検証を進めたい企業・団体

BODIK 関連イベントへの参加 / BODIK ODCS テスト環境へのアクセス / イベント登壇機会の提供 など

今後の展望

ISIT の BODIK 事業は、オープンデータを活用した豊かで活力のある地域社会の実現を目指しています。地域企業と自治体が共に価値を創出できる循環型の仕組みを構築し、データ利活用社会のさらなる高度化を目指してまいります。

有識者からのコメント

株式会社 DX パートナーズ

シニアパートナー & 代表取締役 村上 和彰氏

私たちはいま、「AI 時代」の入り口に立っています。その中で、オープンデータ、そしてその基盤である BODIK の役割は大きく変わろうとしています。生成 AI の活用が広がるほど、情報源となるデータの信頼性はこれまで以上に重要になります。また、オープンデータの利用者も、従来の人やアプリから、エージェント AI へと広がっていくでしょう。この変化に対し、BODIK がどのような仕組みと価値を提供できるかが、今後の大きな挑戦です。BODIK パートナーの皆さんとともに、健全な AI 時代の実装に向けて、知恵を出し合い、汗をかいていきたいと思えます。



お申し込み・制度の詳細

制度名：BODIK パートナー制度

詳細 URL：<https://www.bodik.jp/bodikpartner/>

公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）について

ISIT は、技術移転や技術交流の架け橋となり、情報関連産業をさらに振興させるための中核的研究所として誕生しました。ISIT では中長期的、戦略的なテーマに関する研究開発を行い、さらに大手・地場企業間あるいは大学・企業間の産学連携のコーディネートや研究交流・情報発信等、さらに、新産業の育成支援を行うことによって、広く関連産業や地域社会の発展に寄与していきます。（<https://www.isit.or.jp/>）

お問い合わせ

公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）

オープンイノベーション・ラボ 坂本・西依

福岡市早良区百道浜 2-1-22 福岡 SRP センタービル 5 階

TEL：092-852-3450 E-mail：bodik-team@isit.or.jp

ⁱ BODIK ODCS：オープンデータを公開するデータカタログサイト。ISIT が運営・提供している。全国 344 自治体が採用、135,623 ファイルが公開されている。（2026 年 6 月末現在）